

# 自動車安全技術開発支援事業について

## 1 目的

近年、自動車メーカーや自動車部品メーカーなどの大企業を中心に自動車安全に寄与する製品の開発・販売が行われ、市場が形成されつつあるが、中小企業の参入は一部にとどまっている。

そこで、県内大学を中心に有力な技術シーズを紹介し、主に本県の中小企業に対して自動車安全に寄与する製品開発の取組を促すとともに、研究者・技術者のネットワーク形成を図ることにより、オールあいちでの研究開発の取組を促進する。

## 2 これまでの取組

### (1) 平成26年度

#### ①セミナーの開催

自動車安全技術関連の製品化・事業化に成功している企業の事例や大学の技術シーズを紹介するセミナーを開催した。

- 開催回数：3回（平成26年7月4日、8月6日、11月28日）
- 参加人数：計95名（内訳）企業59名、大学25名、その他11名
- 内容：
  - ・事例紹介（株）デルタツーリング「眠くなるのが数分前に分かる技術（製品紹介）」
  - ・技術シーズ紹介 名古屋工業大学 教授 佐藤淳氏  
「画像情報処理技術の自動車事故抑止への応用」始め4件

#### ②研究者情報のリスト化及び公表

県内大学で自動車安全技術や交通事故抑止に関する研究を行っている研究者のリスト（13大学65名）を作成し、県のWebサイトで公開。

人間工学・情報工学等の工学系から交通心理学等の社会人文系まで幅広く掲載。

■URL  
<http://www.pref.aichi.jp/san-kagi/kagaku/jidosha/researcher.html>



### (2) 平成27年度

#### ①セミナーの開催

参加企業（ニーズ）側が必要な技術をイメージしやすくなるようなテーマを設定。

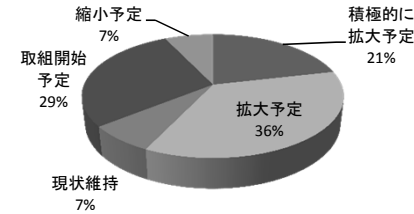
○1回目セミナー（平成27年8月4日）

テーマ 高齢ドライバーの運転支援技術について

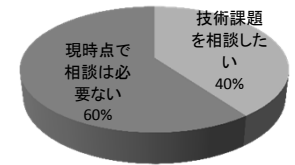
講演内容	講演者	参加者
高齢ドライバーのメタ認知と運転支援・教育	愛知淑徳大学 人間情報学部 准教授 國分三輝氏	30名 (内訳) ・企業：15名 ・公益法人等：4名 ・県警：4名 ・その他：7名
高齢ドライバーの運転特性計測・評価と運転支援	名城大学 理工学部情報工学科 教授 山田宗男氏	

(参加者アンケート結果) (※) 分母は全て有効回答数

■今後の研究開発について(企業のみ)



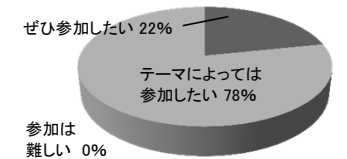
■講義内容について(全参加者)



#### ②研究会の開催（立上げ準備中）

セミナーを契機として形成された研究者・技術者のネットワークを活用し、研究会の立上げを準備中。限定的なメンバーにより関連情報の収集、課題の研究や新規共同研究開発の検討等を行う。

■研究会への参加について(全参加者)



## 3 今後の取組

自動車安全技術開発支援事業において、引き続きセミナーや研究会を開催することにより、自動車安全技術の研究開発に携わる研究者・技術者のネットワーク形成を支援し、今後の産学行政連携の共同研究開発や実用化へと結びつけていく。

